

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	① ②④⑤ (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	汚染水を出さない原発冷却装置
御提案者	有富和宏
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>そもそも、水と核物質を接触させる冷却方法では汚染水がほぼ無限に発生することは自明なことである。また、水の顕熱を利用するより、潜熱を利用する方が効率的である、そこで、「減圧することで水の気化を容易にし、その気化熱を利用」し、「大気圧」を利用することによる冷却装置を考案した。(別添資料参照)</p> <p>この発明により、①汚染水貯蔵の必要はなくなり、別添資料末尾に記載したように、④建屋内の汚染水管理 ⑤地下水流入抑制の敷地管理の技術と組み合わせることにより②汚染水処理 (トリチウム処理) も可能になる。また、このモデルは「温度差発電」、「農業分野」での利用など多岐にわたる利用が可能である。</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) <p>特願2013-118344にて特許申請中</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発・実用化に向けた課題・留意点 <p>16世紀から21世紀の科学の知見を組み合わせた発明であり、実用化は容易である。また、コストも低コストで実現できる。</p>	